

南中賛歌



←ホームページ

「美しくあいさつ 明るく歌声 そっとボランティア」

令和5年1月10日発行
文責 教頭 杉田 直樹

○3学期始業式 校長式辞より

新しい年を迎えました。今日から3学期のスタートです。2学期終業式では（えと）についてお話して、今年はウサギのように「平和で穏やかに」そして「飛躍」が望める年であることを紹介しました。ただ今、3人の学年代表の生徒が新学期の抱負や決意を堂々と発表しました。皆さん一人ひとりにとって大きくジャンプできる年になることを期待しています。



【令和5年 初日（天竜川河口付近より）】

今日は皆さんに「イソップ寓話」の一つを紹介します。寓話とは、大人向けのおとぎ話のようなものです。最も代表的なものは「ウサギとカメ」でしょうか。その他にも「アリとキリギリス」「王様の耳はロバの耳」「うそをつく子供（オオカミ少年）」などがあります。その中に「レンガ職人」というお話が出てきます。

要約すると……

ある時、旅人が、道の途中でレンガを積んでいる3人の職人に、それぞれ「何をしているのか？」とたずねた。

3人とも、ただ黙々とレンガを積むという作業を、一人目は「レンガを積んでいるのさ」と答え、二人目は「大きな壁を作っているのだ」と答えた。そして三人目は、「歴史に残る偉大な大聖堂をつくっているのだ！素晴らしいだろう！」と答えた。

こんなお話です。しかも、一人目の「レンガを積んでいるのさ」と答えた職人は、こんな愚痴をこぼします。「腰は痛くなるし、手はこのとおり。なぜ、こんなことばかりしなければならないのか、まったくついてないね……。」それに対して、三人目の「大聖堂をつくっているのだ。素晴らしいだろう。」と答えた職人は、全く愚痴などを口にせず、晴れ晴れとしたやる気に満ちた表情で仕事に励んでいます。

ホームページでの公表を控えています

このお話から見てくることは、どんな仕事でも、その意味をきちんと理解して見通しをもって取り組めば、やりがいにつながり成果も上がるということです。逆に、それが理解できないと、やっていることが無意味に感じて、ただただ苦しい作業になってしまいます。

この中で一番モチベーション高く仕事をしているのは、明らかに3番目の職人です。やらされているのではなく、自ら取り組んでいるからこそですね。

皆さんは今、学校へ毎日登校することや勉強をすること、友達と協力して行事に取り組むことに、どのような意味付けをしていますか。毎日の宿題や、部活動での単純なドリル練習など、これが自分のどんな力を伸ばすことにつながるのかを考えていますか。嫌々やらされているなんて思っていないですか。

人は気持ちのもち方で行動が変わりやすいものです。また、それに伴って負担感も充実感も大きく影響されるでしょう。1年のまとめとなる3学期、是非、最後まで気持ちを切らずに前向きな姿勢でやり抜いてください。

皆さんののはつらつとした姿、卒業・進級にふさわしい姿を大いに期待して、始業式の式辞といたします。

○朝の交通指導、ありがとうございます

朝の登校時に、保護者の皆様に交通指導を行っていただいています。ありがとうございます。事後にご提出いただいている「交通指導実施記録用紙」や「地域健全育成報告」から、通学の様子や問題点等を紹介します。学校での指導にも役立てて参ります。今後ともよろしくお願いいたします。

<あいさつについて>

- あいさつを進んでする生徒が多くいた。
- あいさつや会釈をしてくれる生徒がほとんどでした。
- 全ての子どもがあいさつをきちんとしてくれた。
 - ・声を掛ければあいさつを返してくれます。
 - ・こちらが目を合わせてあいさつすれば、皆気持ち良くあいさつを返してくれました。



あいさつは、自分から！
元気よく、相手を見て！笑顔で！

<交通ルール、マナーについて>

- 交通ルールを守って登校できていると感じました。
- 止まってくれた車へ頭を下げて登校する姿もありました。とても大切なことだなと思いました。
 - ・去年は、旗を振っている大人の姿を見付けると、そこを避けるように歩道ではなく民間の駐車場を横切ってしまう子が沢山いたが今年はほとんど無かった。
- ▲下校時、横断歩道付近で立ち止まって話をしている子たちがいて、渡るのか渡らないのか分からないことがよくあるので、下校時も交通ルール、マナーを気にしてほしい。
- ▲用水路が狭く、3名で横に並んで歩いていると車が通り辛そうでした。

<交差点にて>

- 見通しの悪い横断歩道ですが、子どもたちは、きちんと止まって安全確認していました。止まってくれる車も多かったです。
 - ・信号のない小さな交差点ですが、見通しの悪い方向もあるので、しっかり止まって確認してほしいです。確認不十分なきもあられるようです。
- ▲自転車通学の生徒は「止まれ」で止まらず渡る子が多い。



【保護司会の方々による登校指導】

<危険箇所について>

- ・南北に横断歩道が無く、見通しの悪い方向もあるのでスピードを出した車は特に注意が必要だと感じた。(諏訪神社南西交差点)
- ・信号が黄色から赤に変わる時、スピードを出している車が通ることが朝は特に多いので、渡る時は気を付けた方がよい。(一心太助)
- ・車が多く、直進車だけでなく、左折や右折の車にも注意が必要だと感じました。(青城交流センター交差点)
- ・車通りが多く、皆急いでいるので危険な場面もあるかもしれないと思った。周りをよく見て線路を渡ってほしい。(立野踏切)

※送迎時のお願い

時々、本校北門付近に駐車し、お子さんを車から降ろしている方を見掛けます。東西への抜け道として通行する自動車もあり、また、徒歩の生徒を含め、自転車通学の生徒が大勢通る場所でもあります。危険ですので、付近の道路での駐停車はご遠慮ください。送迎につきましては、南駐車場をご利用ください。よろしくお願いいたします。